

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	関西外国語大学短期大学部	整理番号	2-3-001
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	授業方法等の複合的改善による英語教育実践		
申請単位	学科単位		
申請担当者	江平 英一		
<p>(取組の概要)</p> <p>関西外国語大学短期大学部は、実践的で高度な英語コミュニケーション能力と国際理解力の養成を目的としている。この教育の目的を達成するために策定した本取組の基本的なコンセプトは、①「授業方法の改善」を核に位置付け、それを「教育活動支援システムの構築」が側面から補完する。②2つの複合的な改善等により生じる相乗効果でカリキュラムの有効化を図る。③卒業後の進路（大学への編入学、就職）に資することのできる実践的な英語運用能力等を育成し、卒業生の質の確保を図ることである。</p> <p>取組の根幹をなすものは、教育方法の改善（学修到達度別少人数クラス編成）と授業形態の改善（ Semester 制及び 60 分授業による集中的履修）である。特に、TESOL を専攻した招聘外国人教員と一体化した教員組織により、①卒業に要する専門教育科目の 48 単位すべてを外国人教員が教授。②1 年次には週 11 回の外国人教員担当授業を受講などの特徴的な取組を行っている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、関西外国語大学短期大学部の教育目的・教育方針を実現するため、学内の教務委員会によって推進され、教授会の審議を経て平成 12 年度から実施されている取組であり、一定の成果を上げていることが認められます。</p> <p>ことに招聘外国人教員制度の導入を軸とした「教員活動支援システム」と、高度な四技能学習の学科目展開を中心とした「授業方法の改善」を交差・統合した取組は、大学、短期大学における英語教育の先行的試みです。</p> <p>また、海外への学生派遣、多読用ライブラリーの利用実績の伸びや、個々の授業改革の実績に豊かさが認められ、注目されるところです。</p>			